

『さっきゃま魂』

R5. 11. 13 第15号

発行人：校長 中山 未永

「感謝」を伝えた最後のステージ ～五島市小中学校音楽発表会～

11月10日（金）第20回五島市小中学校音楽発表会が開催されました。朝から雨模様の天気でしたが、子ども達の表情はいつも以上に晴れやかです。

児童玄関に集合した子ども達は、6年生の「がんばるぞ～！」のかけ声に、「お～！！」と気合いの入った返事で応えます。貸切バスに乗ってからも、子ども達の楽しそうな話し声・笑い声がたくさん聞こえてきました。中には、オープニングの歌を口ずさんでいる子どももいました。

文化会館では、興奮する気持ちを落ち着かせながら自分たちの出番を待ちました。崎小の発表は3番目、ホールに崎小の出番を知らせるアナウンスが流れ、いよいよ練習の成果を披露する時がきました。これまで何度も聞いていた、合唱奏「カントリーロード」と斉唱「崎山小学校校歌」でしたが、いつもとは違った思いが伝わってくるように感じ、目頭が熱くなってしまいました。

子ども達が、「何を考え・何を伝えようとしていたのか」は、分かりませんが、きっと、「ありがとう」の気持ちがたくさんあったと思います。これまでも、行事のたびに、「最後の・・・」や「感謝を・・・」というキーワードが、何度も使われてきました。それを意識しながら練習を重ねることで、いつも素晴らしい発表につながってきました。一つ一つの活動を通して、子ども達が着実にたくましく成長している姿に、大きな喜びと感動を感じることができます。

校長室前のカウントダウンボードは、「音楽発表会」から「学習発表会」に変わり、今日からは11月26日（日）に向けた練習が本格的に始まりました。きっと、最後の学習発表会も、子ども達の「全心全力」の姿を見ることができると思います。子ども達にとっても、忙しい毎日になりますが、最後の最後までより良いものを目指して頑張ってくれると期待しています。ぜひ、近所の方々にも声をかけていただき、より多くの方々と一緒に、楽しい時間を過ごすことができたらと思っています。



持久走記録会を重ねて・・・

今年度、持久走記録会を4回実施しました。2学期に入ってから暑暑い日も続き、しばらく熱中症の心配もありましたが、そのような状況の中でも子ども達の走りに陰りはありませんでした。

自己新記録を出した子どもに「自己ベスト証」を渡していますが、9月に8人、10月に17人の子どもが、自己記録を更新することができました。なかには、連続で記録更新している子どももいます。記録更新のためには、毎日の練習（走ろう運動など）が欠かせませんが、登校後に運動場を走る子どもの数も増え、力強いフォームへと変化してきていると感じています。



10月の記録会の翌日は雨でしたが、運動場を走れなかった子ども達は、体育館を黙々と走っていました。「雨だから走れない」と考えることもできますが、「雨でもやれる」と前向きに取り組む姿に、「さっきゃま魂」を感じました。

11月30日は、5回目の記録会です。さらにレベルアップした力強い走り、「自己ベスト証」を手にする子どもがたくさんであることを楽しみにしています。